



～がんばった先の笑顔を目指して～

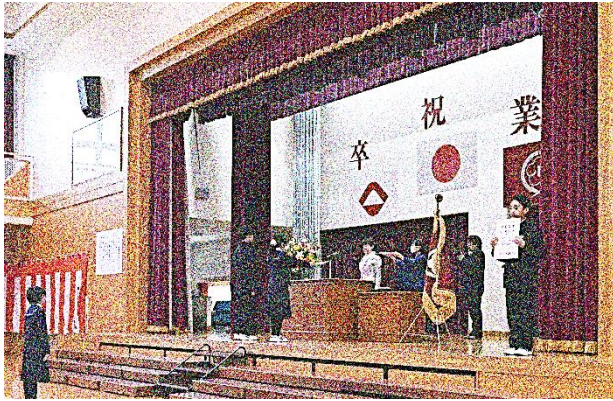
# 福翔

明治6年7月23日開校

二戸市立福岡小学校 学校だより  
発行日 R6. 3. 16  
特別号 (文責: 佐藤純子)  
二戸市福岡字下川又15  
電話0195-23-6155



## 卒業おめでとう！ 52名の旅立ち



福岡小学校創立150周年の節目を刻む卒業式は、笑顔、決意、涙、…笑顔の卒業式でした。

### 《 令和5年度 卒業式 式辞 》

春の訪れを感じるこの佳き日、このように卒業式ができますことを、心から感謝申し上げます。

今朝は、校歌1番の歌詞にあるように、空は広く、折爪岳は朝霞に包まれて、美しく輝き、皆さんの卒業をお祝いしてくれているかのようでした。改めて、卒業、おめでとうございます。

皆さんが生まれたのは、東日本大震災直後の平成23年度。世の中が不安でいっぱいの中で誕生した皆さんの笑顔は、人々の希望となりました。

皆さんが福岡小学校で過ごした6年間で、時代は大きくゆれ動きました。

2年生になった5月、時代は平成から令和に変わり、その2年生が終わろうとする頃、突然、新型コロナウイルスによる全国一斉臨時休校が行われ、3年生からは、マスク着用が義務となり、お互いの表情が見えない生活が3年間続きました。

そして、今年度、皆さんは創立150周年を迎える福岡小学校の最上級生になりました。5月には法律が変わり、マスクを外す場面が増え、学校に明るい笑顔が、少しずつ戻ってきた中で行われた運動会。皆さんは、最高のリーダーシップを発揮して運動会を運営し、150周年記念特別競技の綱引きや選抜リレーを盛り上げてくれました。

また、10月に行われた150周年を祝う会の最後を飾った、6年生の発表「福小タイムトラベル『変わらないもの』」では、二戸の先人「九戸政実」と「田中館愛橘」を劇と合唱で表現し、ふるさとへの思い、未来への希望を示してくれました。

このように、皆さんの学年は、強い団結力で多くの結果を残してきた学年です。辛くても「がんばろう」と言えるたくましさ、心から「ありがとう」と言える素直さがあります。皆さんが守ってきた福岡小学校150年の伝統は、5年生へと引き継がれます。学年スローガン『羅針盤』のもと、常に福岡小学校が進むべき道を示してくれた皆さんには、感謝の気持ちでいっぱいです。

保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。このように、立派に成長し、卒業証書を手にする姿を目にして、喜びもひとしおのことと思います。これまで本校の教育を見守り、支えてくださったことに心から感謝申し上げます。

最後に、4月から新しい生活が始まる皆さんに、校歌3番の歌詞『揚げ 行く手を ここに生きん。』を贈ります。この歌詞には、未来に向かって強くたくましく生きていこうとする強い決意が示されています。これから先、皆さんの進むべき道は、一人ひとりの『心の羅針盤』が示してくれることでしょう。卒業生の皆さんが、素直さを大切に、『心の羅針盤』が指す方へと、強く、たくましく成長し続けることを期待して、式辞といたします。

令和6年3月16日 二戸市立福岡小学校 校長 佐藤 純子